

リンドウ導入30周年 意欲高めた記念大会



功労賞の表彰を受ける
遠藤勝雄さん④

葛巻町花卉振興30周年記念大会（JA新しいわて東部地域花卉生産部会葛巻中央支部主催）は7月8日、ふれあい宿舎グリーンテージで開かれ、これまでの生産活動を振り返り、さらなる意欲を高めました。

町内の花卉栽培は昭和50年、4農家が水田の転作作物としてリンドウを導入したことから始まりました。平成16年度の作付面積は過去最高の8.15％、45人が重点品目のリンドウ、小菊などを生産し、販売額は5千万円を突破しています。

記念大会表彰者

- 功労賞…遠藤勝雄さん（中村）
- 上位出荷実績者…大欠清さん（土谷川）、小谷地喜代治さん（小田）、田村勲さん（土谷川）

友好市町村の今後

葛巻町をはじめ四市町からの入植者によって開拓された歴史を持つ北海道三石町の呼び掛けにより、昭和五十八年六月三日「友好市町」の契りを結び、多くの交流が続けてきた。兵庫県南淡町は南あわじ市に、福井県大野市は合併して大野市として存続、新潟県能生町は糸魚川市になった。三石町は来年三月合併し、新日高町になる。

八月二十五日、これらの市町が三石町に集まり、今後の在り方について協議する。役所主導の定期的交流は廃止し、随時民間レベルで、特にも産業・物産振興につながるような

ひ 町長の ひとりごと⑬



交流を提案する予定である。一方、戦友の遺骨を届けに来町された以来、町に多額の金品をご寄付いただいている上原清善氏のご紹介で、平成元年八月二十四日「姉妹町村」の契りを結んだ沖縄県北中城村とも十七年間多くの交流が続いてきた。今回の合併五十周年記念式典に村長の新垣邦男氏が訪れた。産業・物産交流を盛んにしたいとの考えであり、早速検討した。上原氏の希望でもある青少年交流は、役場で支援しながら今後も継続したいと考えている。

友好六市町村の中で自立を目指しているのは、本町と北中城村だけである。

国勢調査の年ですよ！

—10月1日現在で実施—

今年は、5年に1度の国勢調査の年です。調査は、日本に住んでいるすべての人が対象になり、10月1日現在で全国一斉に実施されます。国の人口・世帯の実態を明らかにし、調査結果は国や都道府県、市区町村の行政の基礎資料として、少子高齢社会への取り組みやまちづくりに生かされます。

町では、7月4日「国勢調査葛巻町実施本部」を設置し、本番への準備を進めています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



数字から 明日の日本を デザイン

国勢調査



＝問い合わせ先＝
総務課広聴広報統計係
(☎役場内線215・257)

臨時職員募集

- 国勢調査関係の臨時事務職員を募集します。
- 雇用人員 1人（年齢50歳未満の人）
- 雇用期間 8月22日(月)から11月30日(水)まで
- 賃金 町臨時職員の賃金規程により支給します。
- 勤務場所 総務課
- 応募期限 8月16日(火)までに、市販の履歴書に必要事項を記入し、写真を張ってお申し込みください。